

39 橋梁の適正な維持管理・更新の推進について

人口減少などにより、財政状況が厳しくなる中、限られた資源で橋梁の持続的かつ適正な維持管理・更新を推進するためには、選択と集中による対応や効率的な業務の実施が必要であります。

そのため、本市では、個々の橋梁に対し、役割や必要性などの「社会的性質」と健全性や構造の特殊性などの「技術的性質」を評価し、対策の優先度を決定する『橋梁トリアージ』を実施し、使用制限や統合・廃止を含めた、メリハリのある維持管理・更新を推進していくこととしております。

また、平成28年6月に国立研究開発法人土木研究所と、平成29年12月に国立大学法人京都大学学際融合教育研究推進センターインフラシステムマネジメント研究拠点ユニットと橋梁の維持管理水準の向上を目的とした協定を締結し、業務の効率化・高度化を推進するための施策にも取り組んでいるところであります。

つきましては、**橋梁の持続的かつ適正な維持管理・更新の推進**について格段の配慮をお願いします。

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 事業年度 | 平成25年度～
(社会資本整備総合交付金、大規模修繕・更新補助) |
| 2 | 事業概要 | 定期点検及び健全性の診断、維持修繕及び更新
管理橋梁数 約2,200橋
(重要橋梁 224橋、小規模橋梁 約2,000橋) |



八田橋 1955年(昭和30年)竣工
・大規模更新事業 平成27年～
[上流側平成30年3月竣工]



土木研究所とモニタリング技術の共同研究
・実橋での実証試験等 平成28年～